

BUSINESS REPORT

第92期

株主通信

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

CONTENTS

- P 1 トップメッセージ
 - P 2 連結財務ハイライト
 - P 3 セグメント別データ
 - P 5 製品のご紹介
 - P 7 コミュニティサイト開設のご案内
 - P 9 サステナビリティ
 - P 10 会社概要／株式情報
- 裏表紙 株主メモ／株主優待情報

トップメッセージ

経済・社会構造が目まぐるしく変化する中
台湾での創業から121年目の新たな一步を力強く踏み出し
独自性を追い求め、持続的な発展を実現してまいります。

代表取締役社長 木村 成克



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は昨年台湾での創業から120年を迎え、本年また新たな一步を踏み出しました。

創業当時、台湾は日本の統治下にあり経済発展の礎を築くべくさまざまな政策が打ち出された時代ですが、その中心となって政策遂行に大きな役割を果たしたのが後藤新平氏でした。当社は後藤新平氏による砂糖産業振興の中で、台湾鹽水港庁岸内庄に創立され、鹽水港製糖と名づけられた経緯があります。

当社はこの歴史ある社名を大切に、そして社員ひとりひとりがその開拓精神を引き継ぎ、次の時代へ新たな飛躍を目指して挑戦し続けてまいります。

さて、当社第92期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、営業の概況につきご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンドによる外国人観光客の増加から緩やかな回復基調にて推移しました。一方、エネルギー価格の高止まりや円安の影響を受けた継続的な物価上昇が相まって、実質賃金はマイナスに転じ消費マインドの改善には足踏みがみられています。先行きについては緩やかな回復が期待されますが、中国や欧州経済の下振れリスクや中東地域を巡る情勢、トランプ大統領就任後の米国の政策動向の影響に十分注意を要する環境となっております。

このような環境の中で、当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員及びその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかによさしい会社」として、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当期の業績は以下のとおりとなりました。

当期の業績について

売上高	32,519	百万円	(前期比 3.1%増↑)
営業利益	2,880	百万円	(前期比 92.7%増↑)
経常利益	3,052	百万円	(前期比 43.5%増↑)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,136	百万円	(前期比 44.8%増↑)

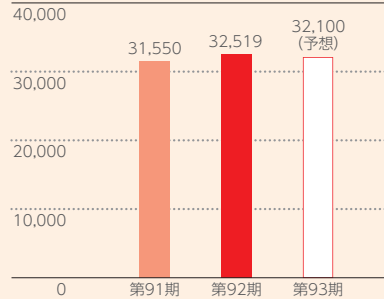
次期の見通し

売上高	32,100	百万円	(前期比 1.3%減↓)
営業利益	2,300	百万円	(前期比 20.2%減↓)
経常利益	2,500	百万円	(前期比 18.1%減↓)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	百万円	(前期比 20.4%減↓)

連結財務ハイライト

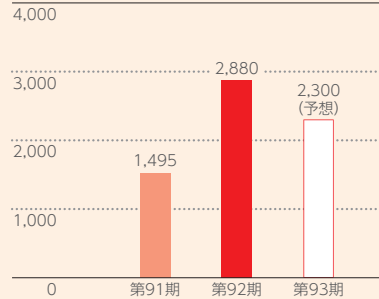
売上高

(単位:百万円)



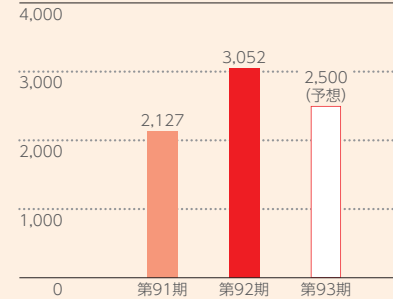
営業利益

(単位:百万円)



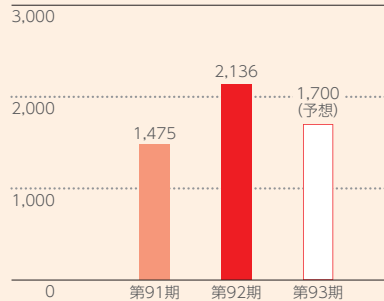
経常利益

(単位:百万円)



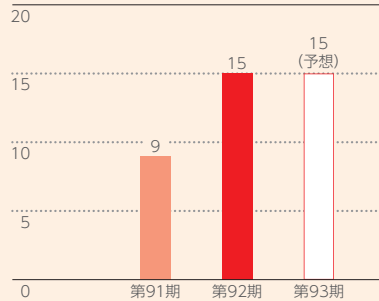
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



配当金の推移

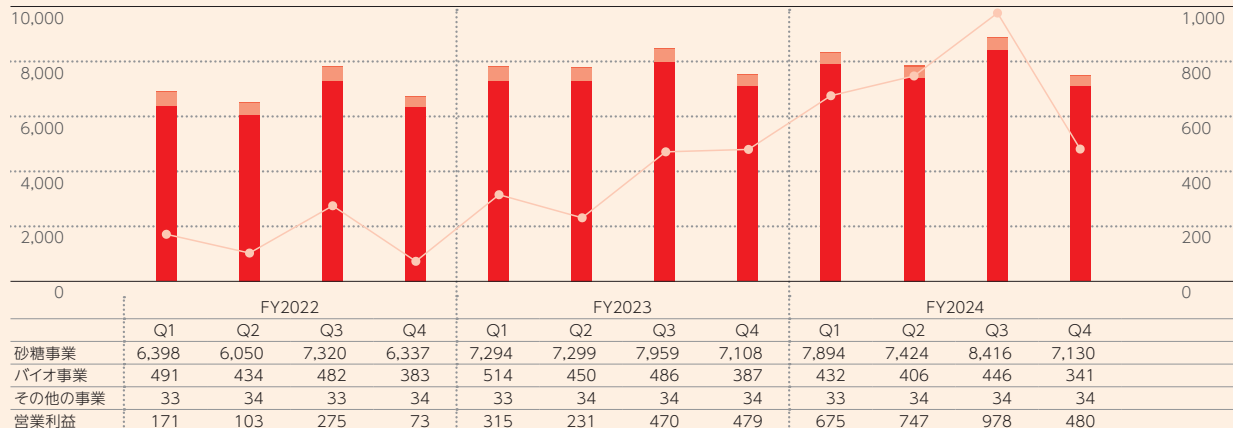
(単位:円)



事業別業績

(単位:百万円)

■ 砂糖事業 ■ バイオ事業 ■ その他の事業 ● 営業利益



セグメント別データ



砂糖事業

売上高

30,864 百万円
(前期比 4.1%増)

営業利益

3,858 百万円
(前期比 67.8%増)



■ 売上高

(単位：百万円)

29,660 30,864

第91期

第92期

■ 営業利益

(単位：百万円)

2,299 3,858

第91期

第92期

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において22.65セントで始まりました。砂糖主要生産国であるブラジル中南部でサトウキビの圧搾が順調に進んだこと、さらには好調な砂糖輸出ペースを背景に8月中旬に安値17.52セントを付けましたが、9月中旬に入ると同地域における長引く乾燥や圃場火災の影響を受け、収穫見通しが悪化したことから高値23.71セントを付けました。その後、ドル高により投機資金が商品市場から流出、1月には主要生産国インドが砂糖輸出制限を緩和し、一時17セント台まで下落しましたが、期末にかけてブラジル通貨レアルが対ドルで上昇し輸出意欲が減退するとの観測が広がったことから相場は再び上昇、結局18.86セントで当期を終了しました。

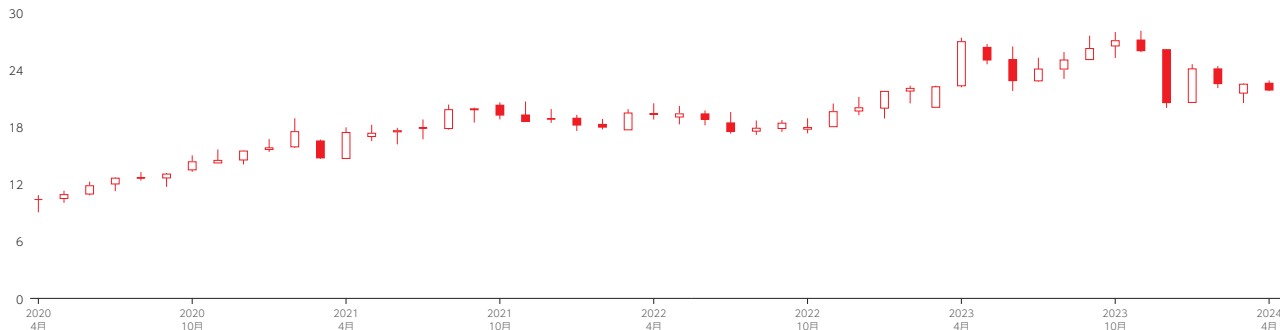
国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初249円～251円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類など国内販売では、家庭用製品が低調に推移したものの、業務用製品が観光需要の回復やインバウンドの増加、夏場の飲料ユーザー向けや年末イベント需要等のイベントが好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は30,864百万円（前連結会計年度比4.1%増）、セグメント利益は3,858百万円（前連結会計年度比67.8%増）となりました。

海外粗糖相場

(単位：セント)

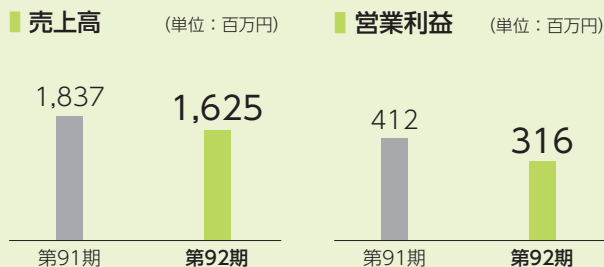




バイオ事業

売上高 1,625 百万円
(前期比 11.5%減)

営業利益 316 百万円
(前期比 23.3%減)



オリゴ糖部門は、コロナ禍以降、オリゴ糖ブームが継続する中、タレント・美容家のIKKO氏を起用し、新たに美容意識の高いユーザーの取り込みに注力、イベントの開催企画等をしたことから、家庭用を中心に堅調に推移しました。特に大容量タイプなどコアユーザー向け製品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン部門は、販売アイテムの集約などによ

り、売上高は前年同期を下回りました。

ビーツ部門は、ECサイトでの販売を中心に展開しましたが、売上高は前年同期を下回りました。

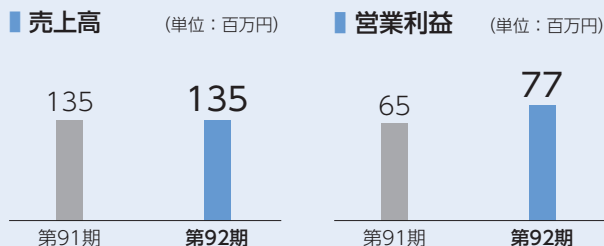
以上の結果、バイオ事業全体の売上高は1,625百万円（前連結会計年度比11.5%減）、セグメント利益は316百万円（前連結会計年度比23.3%減）となりました。



その他の事業

売上高 135 百万円
(前期比 0.5%増)

営業利益 77 百万円
(前期比 18.3%増)



その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は135百万円（前連結会計年度比0.5%増）、セグメント利益は77百万円（前連結会計年度比18.3%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は32,519百万円（前連結会計年度比3.1%増）、営業利益は2,880百万円（前連結会計年度比92.7%増）、経常利益は3,052百万円（前連結会計年度比43.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,136百万円（前連結会計年度比44.8%増）となりました。

製品のご紹介

おかげさまでご好評いただいております。

奄美の豊かな自然の恵みを暮らしへ、からだへ

奄美うまれの 『さとうきびオリゴ』

オリゴ糖市場はコロナ禍をきっかけに拡大を続けてまいりました。
その中で消費者の皆様のニーズも多様化している状況でございます。
「さとうきびオリゴ」は「オリゴのおかげ」ユーザー様とは異なる
ニーズをお持ちの方にアプローチしたものでございます。



自然豊かな奄美のさとうきびを原料とした
ブラウンタイプのフラクトオリゴ糖で、
パッケージにも拘り、他社にはない
スタイリッシュなデザインに仕上げました。

自然のおいしさ

ミネラル豊富な
徳之島の大地が育んだ
さとうきびだけを使用しました

奄美群島の中央部に位置する徳之島。世界自然遺産に登録された豊かな自然と、ミネラル豊富な大地が育んださとうきびから生まれた、徳之島原料100%のフラクトオリゴ糖シロップです。



毎日の食卓に

適度なコクとやさしい甘さが
あらゆる料理をおいしくします

さとうきび本来のおいしさにこだわった、適度なコクとやさしい甘さのオリゴ糖です。
素材の味を邪魔しないので、どんな料理にも相性が良く、毎日の食事からちょっと素敵なライフスタイルをお手伝いします。



ビフィズス菌を増やす

いつもの料理に加えて
ちょっとからだにいいことを
プラスします

さとうきびオリゴはフラクトオリゴ糖を豊富に含みます。
フラクトオリゴ糖は野菜や果物にも含まれる難消化性の糖質で、ビフィズス菌を増やすことを助けます。



さとうきびオリゴ レシピご紹介



●材料 【2人分】

冷凍パイ	10cm×18cm程度のもの1枚
溶き卵	少々
リンゴ	1個
さとうきびオリゴ	大さじ2
バター	10g
シナモンパウダー	小さじ1/4
バニラアイス	50g
チャービル	適量

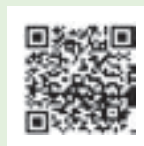
●つくりかた

- ▶ 冷凍パイシートは室温において半解凍して半分に切り、刷毛で溶き卵を薄く塗る。
▶ オープンシートを敷いた天板にのせ、200℃に余熱したオーブンで20～25分、きつね色になるまで焼き、ケーキクーラーに取って冷ます。
- ▶ リンゴは芯を取って一口大に切る。
▶ フライパンにさとうきびオリゴ・バターを入れて中火にかける。
▶ バターが溶けて少し焦げ始めたらリンゴを加えてリンゴがしんなりするまでソテーし、火からおろしてシナモンパウダーを加えて混ぜる。
- ▶ 器に1をのせバニラアイスをのせる。
▶ 2を添えてチャービルを飾る。

さとうきびオリゴ特設ページのご紹介

さとうきびオリゴの製品紹介、レシピ等を掲載しておりますのでこの機会に是非アクセスいただけますと幸いです。

 <https://www.pearlace.co.jp/satoukibi-oligo/>



新たな形のコミュニティサイトを開設します!



あしたの私をちょっと
素敵にするヒント

この度、「あしたの私をちょっと素敵にする」をコンセプトに、QOL（生活の質）向上をテーマとした情報発信・交流型のコミュニティサイト“Ashita+Lab（あしたプラスラボ）”を開設する運びとなりました。

現代社会においては、健康意識の高まりとともに、一人ひとりが「自分らしく、健やかに生きる」ための選択が求められる時代となっています。本サイトでは、食事・運動・睡眠・ストレス管理・スキンケアという日常に根ざした5つの要素を軸に、医師・専門家によるコラムなど、信頼性の高い情報を発信し、特定の製品やサービスに偏らない中立性と誠実さを大切にしながら、一人ひとりが自分に合った選択肢に出会えるようサポートしてまいります。また、ユーザーとの交流や対話が生まれる「共感・共創型の場」として、単なる情報提供にとどまらない双方向のコミュニティ形成にも注力してまいります。

この取り組みは、以下の観点から中長期的な企業価値の向上と事業成長にもつながるものと考えております。

✓ 信頼性の高いコンテンツを通じたブランド価値の向上

中立的かつ誠実な情報発信により、企業としての社会的信頼を高めるとともに、QOL領域におけるブランドポジションを確立します。

✓ ユーザーの声を起点とした共創型マーケティング

ユーザーとの継続的な対話を通じてインサイトを蓄積し、商品開発や改善に活かすことで、ユーザー起点の価値創出を実現します。

✓ 関連事業との連携によるシナジー創出

当社グループの健康・美容関連事業と連携し、ユーザーの行動変容を促進。商品やサービスへの波及効果を高めます。

✓ 持続可能な社会への貢献

一人ひとりの生活の質の向上は、地域社会や医療リソースの負担軽減にもつながります。こうした活動を通じて、社会課題の解決にも寄与してまいります。



今後も当社は、事業活動を通じて社会的課題の解決に寄与すると同時に、株主の皆様のご期待にお応えする持続的な企業価値の創出を目指してまいります。



ロゴデザインコンセプト

「吹き出し」と「プラス」をモチーフにデザイン。

「Ashita+Lab」を吹き出しで囲むことで、コミュニケーションやコミュニティの温かさ、そしてサービスそのものを象徴するアイコニックな存在感を表現しています。

「+」を「輝き」として描くことで、あしたへのポジティブな変化、成長を体現しています。

フィロソフィー（理念）

●あしたの私を、ちょっと素敵に

これは、私たちが何よりも大切にしている想いです。
毎日が特別でなくても、心と身体が心地よく整っているだけで、暮らしは少しずつ豊かになっていく。
そんな「当たり前の日常」を、健やかに積み重ねていけること—
それこそが、私たちの考えるQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の本質です。

●日常に根ざした5つの要素

健康で心地よい毎を送りたいと思ったとき、私たちは自然と、
食事・運動・睡眠・ストレス管理・スキンケアといった、日々の過ごし方に目を向けはじめます。
それぞれは一見独立しているようでいて、実は深くつながり合い、暮らしを支える大切な柱です。
だからこそ、どれか一つではなく、生活全体に目を向けることが、QOLの向上につながるのです。

●だから、私たちはコミュニティをつくりました

自社の商品だけでは、食だけでは、解決しきれない悩みがある—
そんな現実気づいた私たちは、信頼できる情報や、世の中

の素敵な商品・サービスを中立的な視点で紹介しながら、
ユーザーとともに学び、考え、つながっていく共創の場として、コミュニティサイトを立ち上げました。
ここでは、専門家による確かな知見と、生活者のリアルな声が出会い、響き合う場所を目指しています。

●私たちの指針となった言葉

QOLについて深く考える中で、統合医療に長年携わってこられた渡邊昌先生が語った言葉に出会いました。
「QOLの向上とは、普通の生活が送れること。病気になると、その“普通”が難しくなり、生活の質が大きく損なわれる。QOLを保つためには、未病の段階で身体の変化に気づき、食・こころ・からだのバランスを丁寧に整えていくことが大切。」
その根源的な視点は、私たちの目指す方向と自然に重なり、活動の大きな支えとなっています。

●最後に

あなたの明日が、今日より少し素敵でありますように。
その小さな積み重ねが、未来のあなたをかたちづけていく。
私たちは、そう信じています。



2025年7月24日OPEN予定

注：公開日以降にアクセス頂けますようお願い申し上げます
（公開日前にアクセス頂いても、準備中の画面となります）



◀ コミュニティサイトイメージ

サステナビリティ

財団法人クローバースマイルズアクトの活動に賛同し、 業務提携先の大東製糖(株)とともに協働して取り組んでまいります。

財団法人クローバースマイルズアクトは「子供の明るい未来を食で応援する」ことを目的とし、各種支援活動を行っている団体です。

当社はこの活動に共感し、業務提携先の大東製糖(株)とともに各種活動に取り組んでまいります。

今後、当社は大東製糖(株)とともに社会貢献活動の積極的推進、ひいては気候変動・天災地変に対する災害時の食料提供等の地域社会への貢献やSDGsの視点に基づく企業価値向上に向け取り組んでまいります。株主の皆さまに、わかりやすくお示しできるよう準備を進めております。今しばらくお待ちいただけますと幸いです。



現在進めている活動

国連WFP協会への支援

当社は国連WFP協会の評議員として、飢餓の無い世界の実現のために、国連WFP協会の安定した活動を行うための支援を行っております。



食育イベントへの協賛

砂糖を扱う食品会社として、食育活動を行っている公益法人への賛助や料理教室等への協賛を行っております。



地域社会との共生

東京都中央区が主催する『まちかどグリーンデー』に参画し、月に1度の清掃活動を行っております。



『子ども応援プロジェクト』への参加

全国フードバンク推進協議会が主催する『子ども応援プロジェクト』に参加しました。食品ロス削減、子供の貧困問題が解決される社会を目指します。



会社概要

CORPORATE INFORMATION

商 号	塩水港精糖株式会社 ENSUIKO SUGAR REFINING CO.,LTD.
本 社	東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号 03-3249-2381(代)
創 立	明治37年2月
設 立	昭和25年7月
資本金	17億5,000万円
事業所	糖質研究所 関西営業所 工場 / 横浜共同生産工場(太平洋製糖(株)) 大阪共同生産工場(関西製糖(株))
関係会社	(株)パールエース、(株)パールフーズ、太平洋製糖(株)、 関西製糖(株)、南西糖業(株)、(株)ナルミヤ
株式上場	東京証券取引所スタンダード市場
主要商品	精製糖(グラニュー糖、上白糖、三温糖、液糖他) 乳糖果糖オリゴ糖 (オリゴのおかげ、オリゴのおかげダブルサポート) サイクロデキストリン (デキシーパール、イソエリート、デキシーエース他) サラシア属植物エキス末 ビーツ関連商材



株式情報

STOCK INFORMATION

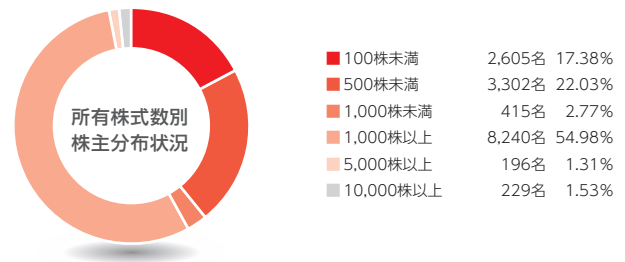
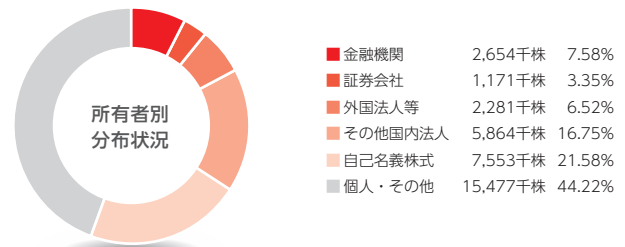
(2025年3月31日現在)

株式の状況

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 35,000,000株
(自己株式7,553,429株を含む。)
- 当 期 末 株 主 数 14,987名
大株主

No	株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
1	大東製糖株式会社	4,060	14.794
2	株式会社みずほ銀行	1,353	4.931
3	INTERACTIVE BROKERS LLC	637	2.324
4	三菱UFJ信託銀行株式会社	603	2.196
5	株式会社榎本武平商店	550	2.003
6	大東通商株式会社	500	1.821
7	BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BN YM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	360	1.315
8	山本 知宏	341	1.243
9	東京海上日動火災保険株式会社	340	1.238
10	野村證券株式会社	322	1.175

(注) 持株比率は自己株式(7,553,429株)を控除して計算しております。





株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 利益配当金の株主確定日 毎年3月31日及び中間配当の支払いを行うときは9月30日
- 基準日 定時株主総会については3月31日
上記の他必要がある場合は予め公告して臨時に基準日を設けることがあります。
- 定時株主総会 毎年6月
- 公告・IR情報掲載URL <https://www.ensuiko.co.jp/>
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
- 事務取扱場所等

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話でのお問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受け取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



株主優待情報

決算期末（3月31日）現在の株主の方に対し、年1回当社製品を以下の基準により送付いたします。

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有されている株主様。

送付時期

毎年7月上旬に送付を予定しております。

送付先

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された住所に送付しております。

ご優待の内容

保有期間	優待内容
3年未満	オリゴのおかげ300g 4本を含む3,500円相当の自社製品
3年以上	オリゴのおかげ300g 4本、オリゴのおかげプレミアム30300g 2本を含む5,000円相当の自社関連製品

※「保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在において、当社の株主名簿に同一株主番号で、3年以上継続して記載または記録されている株主さま（同一の株主番号で3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に、7回以上継続して記載または記録されている株主さま）をいいたします。

※未着優待品につきましては、発送年の翌年3月末日までにお問い合わせ願います。
上記の期日を過ぎたお問い合わせにつきましてはご対応いたしかねます。恐れ入りますが、何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。



創業明治37年
塩水港精糖株式会社
ENSUIKO SUGAR REFINING CO., LTD.